

2017年3月高校卒業予定者の就職内定実態調査（10月末）

2016年12月20日

全日本教職員組合（全教）

全国私立学校教職員組合連合（全国私教連）

全教と全国私教連は全国の構成組織を通じて、2017年3月高等学校・障害児学校高等部卒業予定者の10月末現在の就職内定実態調査を実施しました（調査用紙は7頁）。この調査は、1993年度に第1回を行って以来24年目となります。10月末の就職内定率は79.6%で、本調査を開始した1993年に次ぐ高い内定率になりました。しかし、教育現場からは内定率だけでは伝えることのできない、内定取消し、求人取消し、面接時の不適切な質問、就職活動の長期化、自衛隊の就職ルールに違反した勧誘などが報告されています。

I 集約状況

1. 学校数 32道府県508校から集約（内訳：公立463校、私立45校）

※昨年は27道府県423校（公立389、私立34）

2. 学科・課程別の内訳（ ）内は昨年

| | | | | | |
|--------|-----------|----------|-----------|---------|-----------|
| 全日制普通科 | 256 (196) | 全日制職業科 | 193 (182) | 定時制・通信制 | 82 (69) |
| 総合学科 | 47 (46) | 障害児学校高等部 | 37 (30) | 合計 | 615 (523) |

※複数の課程を併設する学校があるため学校数とは一致しない

3. 対象となる生徒数

集約校の卒業予定者数合計8万8021人（男子4万6604人・女子4万1417人）

※昨年7万2234人（男子3万8515人・女子3万3719人）

そのうち就職希望者は2万7140人（男子1万7358人・女子9782人）

※昨年2万4176人（男子1万5602人・女子8574人）

調査対象校の就職希望者は卒業生数の30.8%（男子37.2%・女子23.6%）

※昨年33.5%（男子40.5%・女子25.8%）

II 今回の調査結果のポイント

(1) 就職内定率79.6%（男子81.3%・女子76.5%）は、本調査を開始した1993年に次ぐ高い内定率になりました。しかし、内定率は道府県、男女、課程で差があります。

(2) 380校から求人が増えたとの回答がありました（回答があったのは500校）。

(3) 全体的にサービス（介護）、建設・土木、製造関係の求人が多い。県外からの求人も多い。生徒の希望職種や地元志向からはかけ離れているとの報告が多い。

※本調査を開始した1993年高校卒業者の求職者数は44万2786人、求人数137万7057人、就職者数44万568人、求人倍率3.11倍、就職率99.5%です。2016年高校卒業者の求職者数は17万2748人、求人数35万2993人、就職内定者数17万1152人、求人倍率2.04倍、就職内定率99.1%となっています（厚労省発表）。卒業生徒数の減、大学進学率の向上（4年生大学進学率1993年28.0%、2016年51.5%）からも鑑み、就職の条件が良くなったと手放しに言えません。

※北海道からの報告では、求人・雇用環境は統計開始以来最高だが、職種の偏り、有期雇用求人の増加など、求人内容が劣化している。求人倍率は地域格差があり、札幌市など都市部は3倍を超えているが1倍を切る地域がある。高校生の減少が求人倍率を上昇させているのではないかと。北海道は高校卒3年後の離職率が全国平均より10ポイント高い。

※和歌山からの報告では、県内に大学が少ないので就職希望が多くなる。8割近くが県内での就職希望だが特

に南部は厳しい。介護、製造が増えたが生徒は希望しない。希望する職種（事務）の求人が少ない。昨年、就職が好調だったので、今年就職希望生徒が増えた。そのため昨年より求人数は増えたが倍率はマイナスになっている。

- (4) 高校生の就職にあってはならない不安定雇用（パート・アルバイト、期間の定めのある雇用、契約社員、派遣業、請負業など）が0.8%171件（男子0.5%・女子1.4%）あります。昨年の同時期より0.3ポイント増加（男子0.2ポイント増・女子0.6ポイント増）しています。特に女子（全体1.4%）、定時制・通信制過程4.2%（男子3.0%・女子6.5%）、障害児学校高等部13.1%（男子13.4%・女子12.5%）が高くなっています。地域では関東・甲越2.3%（男子1.7%・女子2.9%）、近畿1.1%（男子0.8%・女子1.7%）が高くなっています。
- (5) 定時制・通信制過程の就職は厳しい状況です。就職内定率は53.3%（男子55.6%・女子49.2%）。また、「就職・進学以外」が24.1%（男子18.8%・女子30.8%）あり、就職できても「不安定雇用」が4.2%（男子3.0%・女子6.5%）あります。
- (6) 障害児学校高等部の就職も厳しい状況です。就職内定率は39.9%（男子40.1%・女子39.7%）、進学希望者数は4.7%（男子3.6%・女子6.4%）、「就職・進学以外」が40.5%（男子37.6%・女子45.2%）となっています。卒業後の進路が厳しい状況であると言えます。また、就職ができて不安定雇用が13.1%（男子13.4%・女子12.5%）で、障害児学校生徒の就職先の確保が非常に困難であり、就職できたとしてもその後の支援に大きな課題があることがいえます。
- (7) 内定取消しは1件、求人取消し32件、内定・求人取消し以外の就職ルール違反122件、自衛隊の就職ルールに違反した勧誘26件が報告されています。
- ・「家族構成・家族の仕事について」「結婚について」など面接時の不適切な質問はあいかわらず多い。報告以外にも高校が把握していない違法質問などのルール違反があると予想されます。
 - ・初めて高校生求人を出す企業も多く、高校生に対する「就職ルール」を理解していない企業があったとの報告もありました。
 - ・自衛隊の就職ルールに違反した勧誘は、佐賀9件、秋田8件と多く、ほかに山形、愛知、香川（以上2件ずつ）、北海道、京都、岡山（以上1件ずつ）が報告されています。
 - ・「労働条件・求人票の内容」や「選考」についてのルール違反、就職活動の長期化、採用の厳選化などについても現場から切実な声が寄せられています。

Ⅲ 調査結果について

1. 2017年3月高校卒業予定者の就職内定率（10月末）

79.6%（男子81.3%・女子76.5%） ※昨年78.9%（男子80.6%・女子75.7%）

※（参考）厚生労働省調査（2016年9月末） 就職内定率60.4%（昨年同期比4.3ポイント増）

11月18日発表 男子63.7%（同3.6ポイント増）、女子55.8%（同5.4ポイント増）

※（参考）文部科学省調査（2016年10月末） 就職内定率74.9%（昨年同期月比1.5ポイント増）

12月16日発表 男子76.1%（同1.3ポイント増）、女子73.0%（同1.8ポイント増）

- (1) 就職内定率は、本調査を開始した1993年に次ぐ高い内定率になりました。
- (2) 課程校種間、ブロック・道府県、男女間で格差があります。（ ）は昨年
- 障害児学校高等部39.9%（男子40.1%・女子39.7%）※昨年28.0%（男子31.1%・女子21.3%）。
定時制・通信制53.3%（男子55.6%・女子49.2%）※昨年41.8%（男子43.2%・女子38.9%）。
北海道・東北ブロック70.2%（男子69.1%・女子71.7%）※昨年69.2%（男子72.2%・女子64.5%）。
北海道・東北ブロックは北海道、青森など1道5県で内定率が全国平均を下回る。
関東・甲越ブロックは神奈川38.9%が内定率低い。
近畿ブロックは和歌山69.5%が内定率低い。

2. 不安定雇用について（パート・アルバイト、期間の定めのある雇用、契約社員、派遣業、請負業など）

0.8%（男子 0.5%・女子 1.4%）※昨年 0.5%（男子 0.3%・女子 0.9%）

※定時制・通信制、障害児学校高等部は全体を大きく上回る。

障害児学校高等部 13.1%（男子 13.4%・女子 12.5%）※昨年 20.3%（男子 16.7%・女子 31.6%）

定時制・通信制 4.2%（男子 3.0%・女子 6.5%）※昨年 4.8%（男子 3.9%・女子 6.9%）

※関東・甲越 2.3%（男子 1.7%・女子 2.9%）※昨年 0.5%（男子 0.1%・女子 1.2%）

近畿 1.1%（男子 0.8%・女子 1.7%）※昨年 0.7%（男子 0.5%・女子 1.2%）

3. 「就職・進学以外」について（進学でも就職でもない数。家事手伝いを除く自営・家業は「就職」）

2.2%（男子 1.9%・女子 2.5%）※昨年 2.4%（男子 2.2%・女子 2.7%）

※障害児学校高等部、定時制・通信制は全体を大きく上回る。

障害児学校高等部 40.5%（男子 37.6%・女子 45.2%）※昨年 53.2%（男子 50.0%・女子 58.8%）

定時制・通信制 24.1%（男子 18.8%・女子 30.8%）※昨年 26.5%（男子 20.7%・女子 34.3%）

4. 求人内容の実態～設問 4 の回答から

北海道) 正社員での就職が大半だが、準社員という形での入社も数人いる。

北海道) 求人数は多いが、条件が悪い。合わないと見なされると容赦なく落とされる。

青森) 県内は自動車免許が必要な所が多く、経済的に苦しい家庭に厳しい。

岩手) 介護福祉施設の求人が「臨時職員」「1年の期限付き再更新」「準社員」という形態が多い。

宮城) 有期雇用（1年）の契約社員で3人が内定、原則更新と記されているが、不安定雇用にあたると思われる。

福島) 残業時間などは、求人票以上多いだろうと容易に想像がつく。高卒求人の賃金は10年以上前とあまり変わらない気がする。賃上げを要望したい。

福島) 生徒の希望については、県内（自宅から通勤可能な範囲）への就職希望がほとんどであり、求人数は増加傾向にあるものの、生徒の希望に合致する求人は少ない状況であった。

滋賀) 労働形態は、正社員は若干名、他は、パート、契約社員などであるが、実質は期間なしの雇用を前提としている。

京都) ブラック企業がハローワーク紹介（学校紹介）にまぎれこんでいる上に、ハローワークの指導が弱く、是正されない。

和歌山) 退職金がない事業所が多くなってきている。

兵庫) 不安定雇用はあいかわらず増加傾向にある。

兵庫) 不安定雇用は、労働者派遣業からの公開求人4所20件。雇用形態が正社員以外の公開求人6所6件。郵送または来校分の求人。

岡山) 正社員なのに「時給」とか「昇給や賞与なし」は考えてほしい。

IV 内定・求人取消し等の就職ルール違反について

1. 内定取消し 1件（長野）※昨年1件

長野) 企業の業績悪化による内定取消し。

2. 求人取消し 32件（12道府県）※昨年42件（14府県）

福島 5022) 「求人取消」は福島市管内のハローワークから通知があったものであり、ホテルと介護施設が求人を取りやめた事例。

埼玉) 埼玉県内の企業で会社見学実施。生徒は3社見学後、ここを第1希望に履歴書の準備開始。出願書類をそろえ面接練習の最中、企業から「高卒採用計画を見直し、今年は高卒求人なし」と連絡が学校に入る。春日部のハローワークへ電話連絡して指導を入れて頂いたが、企業側は「方針は決まったことだから」とのこと。

富山) 企業の業績悪化により、求人を取りやめるという企業が1社あった。応募前見学、就職試験まで実施された後の取消しだったため、応募した生徒は不利益を被った。富山5055) 採用見合わせが応募書類発送受理後であった。理由は経営方針の転換(社長も7月に代わっている)。

愛知) 求人取消1件。早い時期なら影響なしで終わっていたが、生徒が会社見学をした後であったので、急いで他の会社を探し、見学させた。愛知5061) 校内選考会で応募先が全員決まった後で、女子事務員の求人取消しがあった。職場見学の日程調整のため学校から電話したところ、合併など内部の事情で取り消すことにしたとの説明があった。

大阪) 採用試験を受けたその週に、業績悪化のため求人取消になり、ふりだしに戻った。大阪5099) 経営状況の悪化の見込みのため、不採用となったケースが1件発生した。

3. 就職ルール違反(面接時における不適切な質問、就職活動の長期化、求人・選考内容の変更など)

122件(20道府県) ※昨年は265件(16道府県)

(1) 不適切な質問など

「家族について」「親の職業について」の質問があったとの報告が全国からありました(北海道、岩手、秋田、埼玉、神奈川、山梨、富山、愛知、三重、京都、兵庫、岡山、山口、香川、福岡)。

「尊敬する人について」の質問があったとの報告がありました(山口、香川)。岡山からは、就職試験における作文題が「尊敬する人について」。愛媛からは、「尊敬する人物」を質問が1件あり、職安(ハローワーク)や関係機関へ報告して対応した。

岩手) 面接で「説教された」と落ち込んで帰校した生徒がいたが内定となった。

秋田) 試験の際、支持する政党や信仰している宗教に関する質問をされた。いずれの質問にも明確な返答をした。それが合否に影響したかは不明であるが不採用となった者がいる。

愛知) プライベートに関することで、休日の過ごし方の質問は63件あった。愛知5063) 休日の過ごし方、既往症などについて尋ねられた。愛知5064) 不適切な質問については、全く無法地帯のごとく、多数あり。

愛知) 建設関連の会社に男子が受験した際、一次面接には若い先輩社員2人が面接官であった。受験者の回答を聞かず、二人で話したり、ふざけ気味の質問を投げかけたり、また「新人が朝遅刻をすれば、俺だったら殴るよ」などの不適切な発言があり、受験者は恐怖を感じ、意欲をなくし、その後の受験を辞退するに至った。

愛知) 煙草を吸うかという質問。

滋賀) 女子が面接で欠席日数について、その理由となる病気について、きれいな人に対する接し方について聞かれた。

和歌山) 面接で「彼女はいるか」と聞かれていた。

和歌山) 面接官に直接「君はうちが求めている人材でない」や、「性的な話題に興味があるか」という適性検査があった。

大阪) 外国籍の生徒に家族構成など細かく試験・面接を終了したのち1人だけ別室で聞かれた。

兵庫) 「近々結婚するつもりはあるか」という内容の質問をされた。

兵庫) 背が低い等、面接時に言われた。

(2) 就職活動の長期化

合否結果が出るまで時間がかかる企業、一次と二次の間が長い企業の報告も多くありました(北海道、宮城、山形、長野、富山、愛知、和歌山、大阪、兵庫、佐賀)。

(3) 求人・選考内容の変更

青森) 求人票では自動車免許は不問となっていたのに、面接の際にできれば在学中に免許を取得してほしいと言われた。

秋田) 採否結果を学校経由せず、直接本人へ送付（ハローワーク経由と勘違い）。

長野) 試験科目が一般常識となっていたのに、数教科の問題を出されたケースが1件あった。

滋賀) 高卒の就職試験の直前に、応募者にエントリーシートを提出させ本番の就職試験にデータとして利用しようとした事例があった。

(4) その他

北海道) 今春採用された生徒が4月に働きはじめたが、明らかに求人票と異なる労働を強いられ、店主は、求人票の記載はハローワークを通すためのウソであると言い切った。その生徒はつらくなり5月で退社し、現在別の所で働いている。

福島) 高校生の選考のシステムを企業が理解していない。大卒者と一緒に選考するなど。

神奈川) 高卒求人をはじめたばかりの企業などは、手続き上のミスをしている所もある（一般求人を郵送してきたり、ハローワークの印のないものを郵送してきたりなど）。

愛知) 求人企業の採用基準が不明瞭。女子の容姿が企業の求めるものと違ったらしく不採用。毎年求人が来る企業だが、「ブラック」な勤務を強いるので離職率が高い（卒業生の話）。菓のチェーン店は菓を扱う免許を自分の時間で勉強して取得することを強要される。取れなければ他県（遠隔地）に「飛ばす」と脅かされる。女子の卒業生は働き続けることができないと言っている。

岐阜) 求人側が高校生新卒者求人のルールをわかっていなかった（急募の求人だった）。

和歌山) 求人数の増加に伴って、高卒求人が初めての企業もあり、選考が長期となってしまった状況があったが、後日謝罪にみえられた。和歌山 5089) 高卒求人に不慣れな企業が大学生の選考と同じ様に考えて実施することがあり、選考の長期化につながっている。和歌山 5090) 高校生の就職に不慣れな企業があり、選考に時間がかかった。

和歌山) 書類発送後、試験前に求人票に載っている職種以外で受験をしないかと言ってきた。

岡山) 特にはないが、高校求人が初めての企業は、手続きを含め長期化する傾向がある。岡山 5128) 大学採用者と一緒に内定式をする企業が2社。

兵庫) 応募したが選考前に不適格として応募書類が返却された。必要な検定に合格していないという理由だったが、求人票に明記されていない事項だったので、ハローワークから指導してもらった。

兵庫) ルートサービス（自販機をまわる仕事）に女子が希望。履歴書を送る前はOKだったのに、送付後、女子でこの仕事をしている者はいないという理由で受験を断られた。

岡山) 「調理」という職種で受験したが、面接の中で福祉にも興味があるという話の流れになり、調理で合否が決定しないまま、その場で施設の見学を勧められた。介護職に就くつもりはないという生徒の意思を伝えて合否を尋ねたが、それからさらに1週間後、不合格という結論をいただいた。求人票も見ておらず、調理職での合否も保留されたまま、介護職への勧誘を受けた。

岡山) 生徒が受験を希望した会社に求人票を希望したが、先輩が今まで受験していないとの事例。

岡山) 昨年同様、今年度も採用試験（面接）の際に、直接本人にその場で合否の結果を伝えた。

愛媛) ホテルの求人で「半日間フロント業務をさせたい」という申し出があったが、ハローワークに問い合わせると「違法」ということになった。

4. 自衛隊の就職ルール違反 26件（8府県）※昨年は24件（9府県）

北海道) 昨年、就職ルール違反の戸別訪問があった。道議会でとりあげ、教育長も自衛隊にルールを守るように要請しているがまだ行われている。

北海道) 自衛隊は国に貢献するためと言って勧誘。戦争に行くのか聞いても「行かない」と回答。進学費を稼ぐために志願する者もいる。

V 高校生の未来を保障するために～安定した雇用を保障するために実効ある対策を～

日本国憲法が働くことを権利と位置づけているように、高校生の就職保障のために実効ある対策が必要です。安倍首相自らが働き方改革を強調し非正規という言葉を一掃すると語っています。厚生労働省はじめ関係省庁には次の対策をとるよう求めます。

- (1) 卒業後も未就職となった新卒者に対して、就職が決まるまで就労支援をするよう自治体に対して指導すること。また、失業給付の支給などの特例措置の実施や求職者支援法を充実・改善するなど、未就職者対策を抜本的に強化すること。
- (2) 高校・大学生の就職における人権侵害を根絶し、就職ルールの確立に向けたとりくみを強化すること。「新規学校卒業者の採用に関する指針」の内容を発展させて、新卒者の就職ルールの法整備をはかること。
- (3) 求人拡大に向けていっそうの努力を行うこと。とくに大企業が積極的に求人を出して雇用に対する社会的責任を果たすよう、政府は指導性を発揮すること。
- (4) 高校生の求人の多くを担っている中小企業の支援策を強化すること。
- (5) 高校生の就職支援を強化するため、就職支援員の増員や期間の延長を図ること。
- (6) 障害者の法定雇用率（民間2.0%、国・地方公共団体 2.3%、都道府県教育委員会 2.2%）を遵守させるよう指導を強化すること。
- (7) 厚生労働省の「知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識～」 「これってあり？～まんが知って役立つ労働法Q&A～」や全労連作成の「2017年度権利手帳」、自治体作成のハンドブックなどを活用して、高校生に対して労働法や働くルールの学習をすすめるとともに企業に対しても啓発すること。高校生や教職員などからの相談窓口の体制を強化すること。
- (8) 離職率の高い企業に対し、企業名の公表も含めた指導を強化すること。
- (9) 「勤労青少年福祉法等の一部を改正する法律（青少年の雇用の促進等に関する法律）」を実効性のあるものとし、「ブラック企業」に対する規制を強化すること。
- (10) 求人票の内容を調査し、労働基準法や男女雇用機会均等法などに違反するものを是正すること。
- (11) 自衛隊の就職ルール違反については是正指導をおこなうこと。

以上

2016年度 高校生の就職内定実態調査票（10月）

都道府県名() 学校名()

記入者() 記入者連絡先 (TEL)

1. 課程別の就職希望者数と内定者数（10月末）

次の①～⑤の課程分類に従って表の「課程分類」欄に数字を記入してください。

①全日制普通科 ②全日制専門科（職業科）③定時制・通信制 ④総合学科 ⑤障害児学校高等部

| 課程分類 | 性別 | 就職希望者数 A=B+C | 就職内定者数 =B | 就職未内定者数 =C | 内定者のうち不安定雇用の数 ※1 | 進学希望者数 =E | 進学・就職以外の数 =F ※2 | 卒業予定者数 =A+E+F |
|------|----|-----------------|--------------|---------------|------------------|--------------|--------------------|------------------|
| | 男 | | | | | | | |
| | 女 | | | | | | | |
| | 男 | | | | | | | |
| | 女 | | | | | | | |

※1 「不安定雇用」とは、パート・アルバイト、半年などの期間の定めのある雇用、契約社員、派遣、請負など。また、幹旋先などわかる範囲で「5」の記述欄にご記入ください。

※2 「進学・就職以外」とは、進路希望が進学でも就職でもない生徒の数。家事手伝いを除く自営・家業は「就職」。

2. 求人数の増減（昨年度同時期比） 3. 就職ルール違反について（○印と数字を）

[増加・減少・変わらない]

| | | |
|-----------------|--------|---|
| 内定取消 | 有・無 | 件 |
| 求人取消 | 有・無 | 件 |
| その他の「就職ルール」違反※3 | 有・無 | 件 |
| 自衛隊の勧誘に関する問題 ※4 | 有・無・不明 | 件 |

※ 「就職ルール違反について」の詳細と対応など、わかる範囲で「5」の記述欄にご記入ください。

※3 その他の「就職ルール」違反とは、面接時における不適切な質問や人権侵害、募集と選考における企業の横暴など。

※4 9月15日以前の勧誘、家庭訪問など学校を通さない勧誘、説明会の開催要請など。

4. 求人内容（職種・労働条件等）の特徴等

※求人内容（職種の傾向や生徒が希望する職種との関係、指定校求人、県外からの求人など）、実際に生徒が受験した職種、正社員や「不安定雇用」などの労働形態、就業時間や休日などの労働条件など。

5. 内定・求人取消の詳細、違法質問、選考の長期化など就職の実態について

| | 内定 取消し | 求人 取消し | 就職ルール 違反 | 自衛隊の就 職ルール違反 | 求人の増減(昨年比) | | | |
|-------------|-----------|-----------|-------------|-----------------|------------|-------|-----|-----|
| | | | | | 増 | 変わらない | 減 | 未記入 |
| 全日制普通科 | 1 | 9 | 57 | 8 | 147 | 9 | 50 | 50 |
| 全日制専門家(職業科) | 0 | 16 | 47 | 14 | 146 | 4 | 15 | 28 |
| 定時制・通信制 | 0 | 7 | 6 | 2 | 47 | 0 | 12 | 23 |
| 総合学科 | 0 | 0 | 12 | 2 | 35 | 2 | 3 | 7 |
| 障害児学校高等部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 25 | 7 |
| 合計 | 1 | 32 | 122 | 26 | 380 | 15 | 105 | 115 |

| | 内定 取消し | 求人 取消し | 就職ルール 違反 | 自衛隊の就 職ルール違反 | 求人の増減(昨年比) | | | | |
|----------|-----------|-----------|-------------|-----------------|------------|-------|-----|-----|----|
| | | | | | 増 | 変わらない | 減 | 未記入 | |
| 北海道・東北 | 0 | 3 | 14 | 11 | 70 | 1 | 9 | 6 | |
| 関東・甲越 | 0 | 5 | 5 | 0 | 21 | 0 | 5 | 5 | |
| 北陸・中部・東海 | 1 | 16 | 54 | 2 | 99 | 1 | 25 | 27 | |
| 近畿 | 0 | 3 | 31 | 1 | 103 | 9 | 39 | 14 | |
| 中国・四国・九州 | 0 | 5 | 18 | 12 | 87 | 4 | 27 | 63 | |
| 合計 | 1 | 32 | 122 | 26 | 380 | 15 | 105 | 115 | |
| 北海道・東北 | 北海道 | 0 | 1 | 3 | 1 | 15 | 0 | 3 | 1 |
| | 青森 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24 | 1 | 2 | 1 |
| | 岩手 | 0 | 0 | 8 | 0 | 10 | 0 | 0 | 2 |
| | 秋田 | 0 | 0 | 2 | 8 | 6 | 0 | 0 | 2 |
| | 宮城 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 2 | 0 |
| | 山形 | 0 | 0 | 1 | 2 | 6 | 0 | 2 | 0 |
| | 福島 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 関東・甲越 | 埼玉 | 0 | 5 | 2 | 0 | 7 | 0 | 1 | 5 |
| | 千葉 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | 神奈川 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 |
| | 山梨 | 0 | 0 | 2 | 0 | 5 | 0 | 2 | 0 |
| | 新潟 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 北陸中部東海 | 長野 | 1 | 6 | 26 | 0 | 37 | 1 | 17 | 22 |
| | 静岡 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | 富山 | 0 | 4 | 3 | 0 | 8 | 0 | 0 | 1 |
| | 岐阜 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 |
| | 愛知 | 0 | 4 | 24 | 2 | 45 | 0 | 5 | 3 |
| | 三重 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 2 | 1 |
| 近畿 | 滋賀 | 0 | 0 | 3 | 0 | 7 | 0 | 2 | 2 |
| | 京都 | 0 | 0 | 3 | 1 | 8 | 0 | 0 | 1 |
| | 和歌山 | 0 | 0 | 5 | 0 | 12 | 3 | 9 | 2 |
| | 大阪 | 0 | 2 | 12 | 0 | 15 | 1 | 2 | 0 |
| | 兵庫 | 0 | 1 | 8 | 0 | 61 | 5 | 26 | 9 |
| 中国・四国・九州 | 岡山 | 0 | 1 | 10 | 1 | 41 | 3 | 16 | 7 |
| | 島根 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 山口 | 0 | 2 | 1 | 0 | 15 | 1 | 9 | 1 |
| | 香川 | 0 | 0 | 5 | 2 | 5 | 0 | 1 | 0 |
| | 愛媛 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 高知 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 49 |
| | 福岡 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 2 |
| | 佐賀 | 0 | 2 | 0 | 9 | 14 | 0 | 1 | 3 |
| 長崎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 1 | 32 | 122 | 26 | 380 | 15 | 105 | 115 | |

高校生の就職内定率(10月末)の推移

